

「チーム海部」の強い「絆」を生かし、魅力あふれる自然・学習環境で深い「学」びを実現し、生徒一人一人が「夢」をかなえる日本一の高校をめざす。

本年度重点課題

1. あいさつや礼儀を大切に、人に愛される豊かな人間性の育成
2. 自ら課題を見つけ、主体的に課題を解決していく力の育成
3. 夢と志を持ち、自己実現に向けて困難に打ち克つ力の育成
4. 学習習慣の定着を図り、主体的に学ぶ態度の育成
5. 望ましい職業観や進路意識の育成

基本的なコンセプト

校訓「絆」「学」「夢」を大切にした人づくり

「絆」→ あいさつや礼儀を大切に、人に愛される豊かな人間性を持ち、地域のリーダーとなる自立した生徒を育てる。

「学」→ 基礎・基本を徹底し、自ら課題を見つけ、主体的に課題を解決していく力を身につけた生徒を育てる。

「夢」→ 夢と志を持ち、自己実現に向けて困難に打ち克ち、果敢にチャレンジする生徒を育てる。

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	自己評価	学校関係者の意見・評価	次年度への課題と改善方針
あいさつや礼儀を大切に、人に愛される豊かな人間性の育成	<ol style="list-style-type: none"> ① 基本的な生活習慣の確立〔生徒課〕 ② 身だしなみ指導の徹底〔生徒課〕 ③ 規範意識の向上〔生徒課〕 ④ 安全教育の徹底〔生徒課〕 ⑤ 保健安全指導の充実〔学校保健・生徒課〕 ⑥ 学校行事の充実〔特活課〕 ⑦ 部活動の活性化〔特活課〕 ⑧ 円滑な寮の運営〔寮務課〕 ⑨ 地域に根ざした運営〔総務課・研修情報課〕 	<p>評価指標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自主的にあいさつができる生徒→80%以上 遅刻→1日あたり1人以下 ② 全体での服装・頭髪検査→年10回以上 ③ 規範意識の向上を図るために立哨指導を実施する。立哨指導日数→年110日以上 ④ 自転車検査→年3回、交通安全講話→年1回、交通安全教室→年4回、携帯電話安全教室→年1回 ⑤ 保健だよりの発行→年11回、薬物乱用防止教室・救命講習会→各年1回 ⑥ 地域ボランティアの方と生徒会役員の挨拶運動→年10回以上 海高祭・球技大会等各学校行事に対する生徒の満足度→80%以上 ⑦ 部活動顧問会議→年3回以上 入部率→90%以上 ⑧ 舎監会議→年2回、寮運営協議会→年1回、寮生会議→年5回、寮生保護者会→年1回 ⑨ ホームページアクセス→年100,000回以上、保護者等による学校評価アンケート→年1回 海高だよりの発行→年3回 <p>活動計画</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 生徒会によるあいさつ運動の実施、始業時間の遵守や言葉づかい等、マナーについて指導を徹底させる。 ② 違反者については、担任による常時指導(家庭連絡を含む)、学年や生徒課、保護者とも連携し、身だしなみの改善に努める。全校・学年集会などで服装・頭髪検査を実施し、学校全体として指導を行う。甚だしい場合は、保護者と連携して改善を図る。 ③ 1交通ルール・マナーの遵守について、生徒会や教員の立哨指導(駅・交差点・校門前)を通じてマナーの大切さを教え、規範意識の向上に努める。 ③-2登下校における、自転車事故0を目指す。 ④ 学校安全教育の徹底を図り、交通事故防止や携帯電話でのトラブル防止に努める。 ⑤ 疾病予防の大切さを学ばせ、健康教育を推進する。 ⑥ 「あいさつの励行」に積極的に取り組む。海高祭・球技大会等各学校行事の内容の充実を図る。 ⑦ 魅力ある学校づくりに向け、技術・技能、仲間意識の向上に取り組む、昨年度以上の成績をあげる。 ⑧ 寮生自身が、自ら寮生活のマナーやルールを守り、自分たちで寮を運営するという自覚を持たせる。 ⑨ 保護者・地域と連携協力をするともに情報公開を充実させる。 	<p>評価指標の達成度</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自主的にあいさつができる生徒の割合→80% 遅刻→1日あたり1.37人 ② 全体での服装・頭髪検査→年9回 ③ 交通ルール・マナー遵守の年間指導日数→86日 ④ 自転車検査→年1回 交通安全講話→年1回(牟岐署交通課) 交通安全教室→年4回[29名] 携帯電話安全教室→年1回 ⑤ 保健便りの発行→年11回 薬物乱用防止教室→1回、救命講習会→1回 ⑥ 地域ボランティアの方と生徒会役員の挨拶運動→年9回 海高祭・球技大会等各学校行事に対する生徒の満足度→97% ⑦ 部活動顧問会議→年3回、入部率→86% ⑧ 舎監会議→年2回、寮運営協議会→年1回、学期ごとに大そうじの実施→3回、寮生会議→年3回、寮生保護者会→年1回 ⑨ ホームページアクセス→年354,704回(3/12現在)、保護者等による学校評価アンケート→年1回 海高だよりの発行→年3回 <p>活動計画の実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 校訓である「絆」・「学」・「夢」に沿った学校生活の満足度→89% ② 違反者については、学年や生徒課、保護者とも連携しながら身だしなみの改善に努めた。全校・学年集会などで服装・頭髪検査を実施し、学校全体として指導を行った。甚だしい場合は、保護者と連携して改善させた。地域保護者からの信頼度→82% ③ 教員の立哨指導(駅・交差点・校門前)を通じて交通ルール・マナーの大切さを教え、規範意識の向上に努めた。 ④ 学校安全教育の徹底を図り、交通事故防止に努めた。牟岐署と連携し、月1回実施のあいさつ運動時に交通安全啓発を行った。 ⑤ 疾病予防の大切さを学ばせ、健康教育を推進した。 ⑥ 「あいさつの励行」について生徒会で話し合い、あいさつ運動に積極的に取り組んだ。海高祭・球技大会の種目や運営について、工夫して取り組んだ。さらに充実した活動になるように、意見を話し合うことができた。 ⑦ 中学校との合同練習や練習試合を実施することで魅力ある学校、部活動への取組を行った。また文化祭では地域との連携を図ることでより充実した活動となった。また男子バスケットボール部では県総体で準優勝、選手権大会で優勝の好成績を残した。 ⑧ 寮生自身が、自ら寮生活のマナーやルールを守り、自分たちで寮を運営するという自覚を持たせ、必要だと考えられるサポートを寮務課を中心に行った。 ⑨ ホームページに各種行事などの情報を公開した。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 日々の学校生活において、生徒たちの元気で爽やかな挨拶が定着しており、礼儀正しい態度は大変立派です。スポーツクラブで会う子どもたちとよく話しますが、みんな地域の人たちとも溶け込み談笑する風景を見ると愛されていると感じます。 ⑦ 部活動の活躍が目覚ましく、技術の向上だけでなく、日々の活動を通じた人間性の育成が確かな成果として表れています。 ⑧ 学校生活および寮生活の安心・安全が確保されることが、日頃の教育活動においても、今後の生徒募集等においても最も重要であると思っています。 ⑨ 地域に根差した学校運営が進められており、地域の方々との関わりを通して、まさに「人に愛される」生徒が育っていると感じます。今後もこの素晴らしい取り組みを継続していただきたいです。 	<ol style="list-style-type: none"> ①～⑤ 生徒指導にあつては、説明を十分に行うことで保護者の理解・協力を得るように努める。 ①～⑤ 地域の方々の意見・要望を真摯に受け止め、その期待に応えられる学校であり続けるため、より一層の「生徒指導」の充実を図る。 ⑥ あいさつ運動の継続と各学校行事の内容検討と充実を図る。 ⑦ 顧問会議を定期的に開催し、教員間のコミュニケーションを図る。部活動を通して、豊かな心・規律ある態度等の育成を図る。魅力ある部活動とするため、さらに近隣中学校との連携を深め、大会等での実績を残すことができるようにする。 ⑧ 自立した生活ができるよう教員のサポートを充実させる。また、生活環境を整え、美化に努める。 ⑨ 保護者への情報公開の充実を図る。今年度引き続き、各種学校行事の案内や配布物等をホームページに掲載する。

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	自己評価	学校関係者の意見・評価	次年度への課題と改善方針
自ら課題を見つけ、主体的に課題を解決していく力の育成	<p>①ボランティア活動の充実 〔特活課・JRC〕</p> <p>②人権教育の推進 〔人権教育課〕</p>	<p>評価指標</p> <p>①特別支援学校との交流学習→1年2回以上、自主的ボランティア活動(地域のボランティア、清掃活動、募金活動など)→1人1回以上</p> <p>②-1人権学習HR活動→1年5回</p> <p>②-2人権教育啓発行事に対する生徒の満足度→80%以上</p> <p>②-3「人権だより」の発行→1年3回</p> <p>②-4校内人権教育教職員研修→1年3回</p> <p>活動計画</p> <p>①地域社会と海部高校生の絆づくりをすすめるとともに、ボランティア活動を積極的に、生徒の豊かな心と主体的に行動する力を養う。</p> <p>②-1HR活動に人権学習を位置付け、生徒の人権意識(『安心・自信・自由』)の高揚を図り、人権問題解決の実践力を育成する。</p> <p>②-2人権・道徳教育映画会や人権・道徳教育講演会等の内容を充実させる。</p> <p>②-3人権学習HR活動や人権教育啓発活動等について「人権だより」で発信し、生徒・保護者・教職員で共有し、人権意識の高揚を図る。</p> <p>②-4徳島県人権教育基本方針の精神をふまえ、各種研究大会の研修成果等の共有を図る。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>①特別支援学校との交流→1年1回 自主的ボランティア活動→1人1回以上76% (地域のボランティア、収集活動、募金活動など)</p> <p>②-1人権学習HR活動→1年5回</p> <p>②-2人権・道徳教育映画会 生徒満足度→97%</p> <p>②-3「人権だより」の発行→3回</p> <p>②-4校内人権教育教職員研修→3回</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>①7月に阿南支援学校ひわさ分校との交流会を実施し、全体交流会と班別活動を行った。JR海南駅を季節に合わせて飾り付けを行った。</p> <p>②-1 同和問題を中心に、学年統一のテーマで実施した。今年度の第1回目は社会の状況に合わせ、全学年で「インターネットによる人権侵害」を取り上げた。また、1年生で学ぶテーマとして「様々な人権問題」を位置づけ、「性の多様性」について考えられるようにした。</p> <p>②-2 5月に人権・道徳映画会、11月に人権道徳教育講演会を実施した。生徒・教員共に満足度は高く、自己肯定感を高めるために、どう行動すべきかを学び、今後の生活について考えることができた。</p> <p>②-3 人権学習HR活動や人権・道徳教育映画会、人権道徳教育講演会、ヒューマンライツ部が参加した「中・高生による人権交流集会」の内容等を掲載した。</p> <p>②-4 校内人権教育職員研修を3回行った。各種人権研究大会には、人権教育課員を中心に参加し、情報を共有した。</p>	<p>①ボランティア活動の充実により、子どもたちの自発的な行動力が大いに引き出されています。</p> <p>あったかいよう役員として地域の催して海高生ボランティア部と一緒に活動する時があります。皆さん、率先して活動のお手伝いをしてください。笑顔で楽しく活動して下さる姿が印象的です。</p> <p>②人権教育の推進を通して、多様性を認め合いながら課題に向き合う姿勢が培われている点が素晴らしいです。この取り組みが子どもたちの主体性の育成に大きく貢献していると評価します。</p>	<p>①自主的ボランティア活動への積極的参加の促進を図る。</p> <p>②-1学んだことや感想に書いたことをもとに、社会の変化や様々な人権問題に自主的、主体的に対応できる実践力を育てていきたい。</p> <p>②-2生徒の心に響く人権啓発行事になるよう、魅力ある映画や講師の選定をしていく必要がある。</p> <p>②-3生徒・保護者・教員が情報を共有でき、話題のきっかけとなる「人権だより」になるよう、内容の充実を図る。</p> <p>②-4学校・地域・家庭・関係機関が密接な連携を図り、より効果的な人権教育が推進できる体制を築くことが重要である。そのためにも、教師自身が自らの意識改革に迫るような研修内容の工夫・改善に努める。</p>
夢と志を持ち、自己実現に向けて困難に打ち克つ力の育成	<p>①特別支援教育の充実 〔教育相談課〕</p> <p>②教育相談の充実 〔教育相談課〕</p> <p>③危機管理意識の育成 〔環境防災課〕</p>	<p>評価指標</p> <p>①校内研修会→1年1回、特別支援・不登校対策委員会→1年5回</p> <p>②-1教育相談週間→1年3回、悩みアンケート→1年3回、教育相談学年部会→1年5回</p> <p>②-2スクールカウンセラーについての周知や推進体制の強化、ケース会や研修会等の実施→1年3回</p> <p>③-1防災避難訓練→1年3回</p> <p>③-2防災講演会→1年1回、各種防災フォーラム・研修会などに参加</p> <p>③-3普通救命講習→1年1回</p> <p>③-4防災HR活動→1年1回</p> <p>活動計画</p> <p>①習熟度別授業の展開やチームティーチングなどの実施。また、すべての生徒に分かりやすい授業のユニバーサル化に取り組む。</p> <p>②「悩みアンケート」の実施や、相談週間を設けることにより、教育相談活動を充実させる。</p> <p>③防災・減災教育啓発に力を注ぎ、防災意識の持続と高揚を図るとともに、危機管理意識や将来における各地域の防災リーダーとしての自覚を促す。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>①校内研修会→1回 特別支援・不登校対策委員会実施→5回</p> <p>②教育相談週間→3回、悩みアンケート3回 教育相談学年部会→5回</p> <p>③-1防災津波避難訓練→1年3回 小・中・高・地域合同避難訓練→なし 町主催津波避難訓練→1年1回</p> <p>③-2防災講演会→1年1回 防災クラブ交流イベント参加 防災教育の積極的な取組→95%</p> <p>③-3普通救命講習→1年1回</p> <p>③-4防災HR活動→1年1回</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>①特別支援・不登校対策委員会にかかる生徒については、職員全員の共通理解を図ることができた。</p> <p>②悩みアンケートや相談週間で生徒の実態把握に努めた。</p> <p>③南部総合県民局・海陽町役場・海陽町社会福祉協議会などの関係諸機関と連携して防災教育を推進し、実践力を身に付け、将来の防災リーダーとしての自覚を促すため校内では年3回の避難訓練を実施、防災講演会は年1回実施した。また、今年度は7名の生徒が「防災士」の資格を取得することができた。防災士を中心に小学校への出前授業、本校主催の避難所運営訓練、防災サマーキャンプ、高校生防災クラブ交流イベント、海陽町内の避難所運営訓練、災害ボランティア入門講座</p>	<p>①②特別支援教育や教育相談の充実により、子どもたち一人ひとりの特性や悩みに寄り添う、きめ細やかな支援体制が整えられている点を評価します。支援を必要とする生徒の聞き取り等に基づいて、全教職員共通理解のもと対応いただけることは、大変ありがたく思います。</p> <p>③災害発生時には、体力や知性のある高校生のみなさまは、大きな力を発揮します。まずは自分の身を守り、また周囲の方々と力を合わせて災害を乗り越えられるよう、訓練と学習をさらに積み重ねていただきたいと思います。</p> <p>防災士の資格取得や、小学校や地域と連携した各種防災活動に積極的に取り組む生徒の皆さんの姿を、大変嬉しく思います。</p> <p>防災士を中心とする出前授業は、生徒の防災意識の育成にも役立つと思うので、中学校でも実施していただけるとありがたいです。ご検討ください。</p>	<p>①②外部機関との連携を図りながら、さらに支援体制を整える。</p> <p>①授業のユニバーサル化を目指し、学習教材の工夫を行う。</p> <p>②悩みアンケートに記入されていることを面談などで詳しく把握し、早期に対応する。</p> <p>③訓練内容や参加する訓練・研修会などを精選し、より高い防災意識を養い、持続させる。</p>

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画		自己評価		学校関係者の意見・評価	次年度への課題と改善方針
		評価指標	活動計画	評価指標の達成度	活動計画の実施状況		
学習習慣の定着を図り、主体的に学ぶ態度の育成	①分かる授業、興味を持ち学ぶことが楽しい授業の実施 〔各教科・教務課〕	①生徒による授業評価アンケート→年1回 授業に対する生徒の満足度(授業評価アンケート)→85%以上 教員による公開授業週間→年2回、学力向上推進委員会→4回、教科会4回	①1教科・科目において、生徒の理解度や授業への興味・関心等について意識の変化を把握し、生徒が主体的かつ積極的に授業に取り組むよう創意工夫する。	①生徒による授業評価アンケート→1回(11月) 授業に対する生徒の満足度(生徒による授業評価アンケート)→94.2%【令和6年度94.9%】 教員による公開授業週間→2回(9/29～10/4、11/17～11/21) 学力向上委員会→4回 教科会→3回	①教科・科目において、授業評価アンケートを実施し、生徒の理解度や授業への興味・関心等について把握し、生徒が主体的かつ積極的に授業に取り組むよう工夫した。公開授業週間は10月と11月に設定し、授業力向上を目指した。	①④⑤先生方が「分かる授業、興味を持ち、学ぶことが楽しい授業」の実施に向けて工夫を重ねられている点を高く評価いたします。これらの取り組みにより、子どもたちの学習意欲は着実に高まっています。今後は、学校で高まった興味・関心を、家庭学習などにおける「自ら学習する態度」としてさらにしっかりと定着させていくことを期待しています。学校での、学習サポートが素晴らしいと思います。塾に通わなくても、家庭や放課後学習で皆さん力を付けていけるのは先生方のサポートのお陰だと思います。	①各教科会を定期的に開き、PDCAサイクルに基づいた見直し・改善に努める。
	②読書活動の推進 〔研修情報課図書担当〕	②図書室の年間貸し出し冊数→1,000冊以上 年間を通じての朝の読書の実践 図書館だより→年3回、全校一斉読書会→年1回	①-2授業での小テスト・定期テスト・校内テスト・模試など、テストを生かした指導方法の改善を図る。 ①-3相互参観授業週間や教科会を充実させ、授業力向上を目指す。 ①-41人1台端末を活用した活動や発表の時間を確保し、生徒の学習意欲向上を図る。 ②「みんなでやる。毎日やる。好きな本でいい。ただ読むだけ。」をスローガンに朝の読書の充実を図る。 ③行事の精選や学期末の日程の工夫をとおして、授業時数の確保に努める。	②図書室の年間貸し出し冊数→648冊(学級文庫を含む。3/10現在) 図書館だより→3回、全校一斉読書会→1回	②学級文庫を設置するなどして、朝の読書の充実を図った。	②朝読書の時間を継続する。	②新刊書を増やし、魅力ある図書室にする。生徒からリクエストを出してもらい、要望に応える。(図書室にない本は他の図書館から借用する。)図書館だよりの定期的な発行や、興味を引くような企画を考え発信していく。
	③授業時数の確保〔教務課〕	③授業の実施率→法定授業時数の80%以上	①-1教科・科目において、生徒の理解度や授業への興味・関心等について意識の変化を把握し、生徒が主体的かつ積極的に授業に取り組むよう創意工夫する。	③授業の実施率81.2%(3/11現在) 【令和6年度80.6%(2025/3/10現在)】	③学校行事の精選、学期末の日程の工夫をとおして、授業時数の確保に努めた。	③学校行事の精選を継続していく必要がある。	③学校行事の精選を継続して考えていく必要がある。
	④学習習慣の定着〔進学課〕	④平均家庭学習時間2時間以上の者の割合→40%以上 生活実態調査→年5回	①-2授業での小テスト・定期テスト・校内テスト・模試など、テストを生かした指導方法の改善を図る。 ①-3相互参観授業週間や教科会を充実させ、授業力向上を目指す。 ①-41人1台端末を活用した活動や発表の時間を確保し、生徒の学習意欲向上を図る。 ②「みんなでやる。毎日やる。好きな本でいい。ただ読むだけ。」をスローガンに朝の読書の充実を図る。 ③行事の精選や学期末の日程の工夫をとおして、授業時数の確保に努める。	④2時間以上学習者→23.9%【令和6年度35.7%】 生活実態調査→5回(5月、7月、9月、11月、2月)	④英・数・国を中心に週末課題を実施し、課題提出の徹底を図った。	④学年団との連絡を密にし、常日頃から根気強く、習慣化を働きかける。プリント学習の徹底を図る。	④学年団との連絡を密にし、常日頃から根気強く、習慣化を働きかける。プリント学習の徹底を図る。
	⑤自ら学習する態度の育成 〔進学課〕	⑤映像講座(駿台サテネット21)視聴講座数→100講座以上	①-2授業での小テスト・定期テスト・校内テスト・模試など、テストを生かした指導方法の改善を図る。 ①-3相互参観授業週間や教科会を充実させ、授業力向上を目指す。 ①-41人1台端末を活用した活動や発表の時間を確保し、生徒の学習意欲向上を図る。 ②「みんなでやる。毎日やる。好きな本でいい。ただ読むだけ。」をスローガンに朝の読書の充実を図る。 ③行事の精選や学期末の日程の工夫をとおして、授業時数の確保に努める。	⑤映像講座(駿台サテネット21)視聴講座数→127講座	⑤各学年ごとに、おすすめの講座をプリントにまとめて配付した。保護者にも受講の案内を配付した。また、4年制大学への進学を目指す生徒には、個別で受講すべき講座についてアドバイスをを行った。	⑤教科会・学年団との連携を図り、生徒への直接的な声かけを粘り強く行っていく。	⑤教科会・学年団との連携を図り、生徒への直接的な声かけを粘り強く行っていく。
	⑥個人の能力や適性の伸長 〔進学課〕	⑥4年制大学進学希望者校外模試受験者率→90%以上	①-2授業での小テスト・定期テスト・校内テスト・模試など、テストを生かした指導方法の改善を図る。 ①-3相互参観授業週間や教科会を充実させ、授業力向上を目指す。 ①-41人1台端末を活用した活動や発表の時間を確保し、生徒の学習意欲向上を図る。 ②「みんなでやる。毎日やる。好きな本でいい。ただ読むだけ。」をスローガンに朝の読書の充実を図る。 ③行事の精選や学期末の日程の工夫をとおして、授業時数の確保に努める。	⑥進学希望者校外模試全員受験→88.3% 【令和6年度90.3%】	⑥英・数・国を中心に週末課題を実施し、課題提出の徹底を図った。	⑥全員受験の徹底化と受験後の見直しを徹底させるとともに、素早く情報共有を行い、生徒面談等を行っていく。	⑥全員受験の徹底化と受験後の見直しを徹底させるとともに、素早く情報共有を行い、生徒面談等を行っていく。
	⑦各種検定の合格率の上昇 〔情ビ科・英語科〕	⑦全商検定(簿記、情報処理、ビジネス文書、商業経済、ビジネス計算)→2級合格率50%以上、3種目1級合格率10%以上、また、すべての生徒がいずれかの検定3級を1科目以上取得 実用英語技能検定 →準2級合格率60%以上、2級合格率50%以上、準1級合格率50%以上 GTEC→CEFRでA2レベル相当以上取得者80%以上	①-2授業での小テスト・定期テスト・校内テスト・模試など、テストを生かした指導方法の改善を図る。 ①-3相互参観授業週間や教科会を充実させ、授業力向上を目指す。 ①-41人1台端末を活用した活動や発表の時間を確保し、生徒の学習意欲向上を図る。 ②「みんなでやる。毎日やる。好きな本でいい。ただ読むだけ。」をスローガンに朝の読書の充実を図る。 ③行事の精選や学期末の日程の工夫をとおして、授業時数の確保に努める。	⑦情報ビジネス科検定合格率 2級合格率→20%、1級三種目合格率→7% 実用英語技能検定合格率→準2級71%、準2級プラス→0%、2級21%、準1級0% GTEC、CEFRでA2レベル相当以上取得者→63%	⑦授業に関連する各種検定の指導計画の見直しと、補習体制の強化、個別指導に努める。 1級3種目以上取得を目指し、学習を継続させる生徒が増えた。また、競技会出場を機に全国大会等さらに広い世界に視界を広げさせることができた。 本年度卒業生のなかに、授業と部活動を活用した学習によりITバスポート試験に合格した生徒が2名おり、全商主催の検定以外にも挑戦させることができた。	⑦授業に関連する各種検定の指導計画の見直しと、補習体制の合理化を検討していきたい。	⑦就職にも学力が必要であり、補習以外でも自ら学習するような習慣づくりを確立させたい。

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画		自己評価	学校関係者の意見・評価	次年度への課題と改善方策
		評価指標	活動計画			
望ましい職業観や進路意識の育成	①望ましい職業観や進路意識の育成 〔進学課〕	①進路講演会→1年2回以上 保護者対象進路説明会→1年2回以上 生徒への進路ガイダンス実施→1年2回以上 教員の企業・大学・短大・専門学校等への視察訪問→1年5回以上 生徒・保護者への大学・専門学校のオープンキャンパス等の案内(教育支援ツールの使用)→毎月2回		①進路講演会→3回 保護者対象進路説明会→2回 生徒への進路ガイダンス→2回 企業・大学等への視察・訪問→7回 オープンキャンパス等の案内→1月2回	①全体的に目標以上の活動が行われており、素晴らしい手厚さだと思います。生徒の将来を担う大切な活動ですので、継続していただければと思います。 ②③進学も就職も良好な結果が得られたのは、単なる進路先の決定にとどまらず、日常的に「望ましい職業観や進路意識の育成」が図られてきた結果です。きめ細かな進路指導や就職指導の充実を通して、生徒たちが自分自身の将来と真剣に向き合い、主体的に進路を選択する力が育っていることを大変嬉しく思います。生徒の自己実現を力強く後押しする、素晴らしい教育活動であると評価します。 学校側からは働きかけにくいと思いますが、将来の展望や学校への寄付には、同窓会が大きな力を発揮します。高校には三校歴史館もあり、さまざまな伝統を引き継いでいることを誇りとして、地域社会や全国へ広がるネットワークの構築をしていただきたいと前から願っております。	①進路への意識を高揚させるため、保護者対象の講演会を開催する。また、定期的に進路情報を発信するなどして、参加人数の増加に努めたい。 ②進学検討会では、入試改革等新しい情報を正確に共有していく必要がある。また、職員の研修の場としての意識付けも必要である。 ③進路情報の適切な処理を行い、生徒保護者が進路決定において判断しやすく、意識が高まるような情報を提供していきたい。低学年より、進路意識を高める指導に取り組みたい。
	②きめ細かな進路指導 〔進学課〕	②家庭との協力体制を図る。三者面談→1年1回以上 進路希望調査→1年3回実施、 進路検討会(3年生)→1年3回以上、進路検討会(2年生)→1年1回	②三者面談→1年1回以上実施できた 進路希望調査→3回 進学検討会(3年生)→6回、進学検討会(2年生)→1回	①②保護者生徒双方の職業意識・進路意識の高揚に向けて、効果的な方策を追求していく。 ③生活習慣の改善や礼儀作法、学習態度等、学力と並行して就職に必要な生き方に関する指導を強化していきたい。		
	③就職指導の充実〔就職課〕	③生徒・保護者対象の説明会・講演会→1年2回以上 三者面談→1年1回以上・個人面談→1年2回以上 三年模擬面接練習→5回以上 三年就職補習の出席率→90%以上	③生徒説明会・講演会→3回 三者面談・個別面談の実施→4回 模擬面接練習→6回 就職補習の出席率→90%			
		活動計画	評価指標の達成度			
		①早くから保護者への広報活動に取り組み、説明会が意義あるものとなるよう工夫する。 ②家庭との協力体制をつくる。 ③-1PTA総会や説明会の際などに保護者との就職相談を実施する。 進路情報(就職先・求人数等)を充実させる。 ③-2就職指導について担任との連携を強化する。就職指導室の情報提供機能を充実させる。 就職補習を充実させる。就職試験対策を強化する。	①進路説明会への保護者の出席率を上げるために、早くから広報活動を行うとともに、進学・就職状況の説明なども取り入れ工夫をこらした。 ②面談などを通じて家庭との協力体制の強化に努めた。 ③就職補習を通じて、就職活動の心構えや勤労観を考えさせることに注力し、企業選択をサポートできた。求人閲覧アプリ「Handy進路指導室」を継続使用し速やかな情報提供ができた。 3年生の保護者に対しては7月に就職説明会を開き情報提供の機会をつくった。企業の取扱商品を展示するなど、企業理解が深まるようにした。1.2年生の保護者には10月に今年度の就職情報をいち早く届ける機会を設けた。			